亀岡市文化財保存活用地域計画

―概要版―

令和5年2月

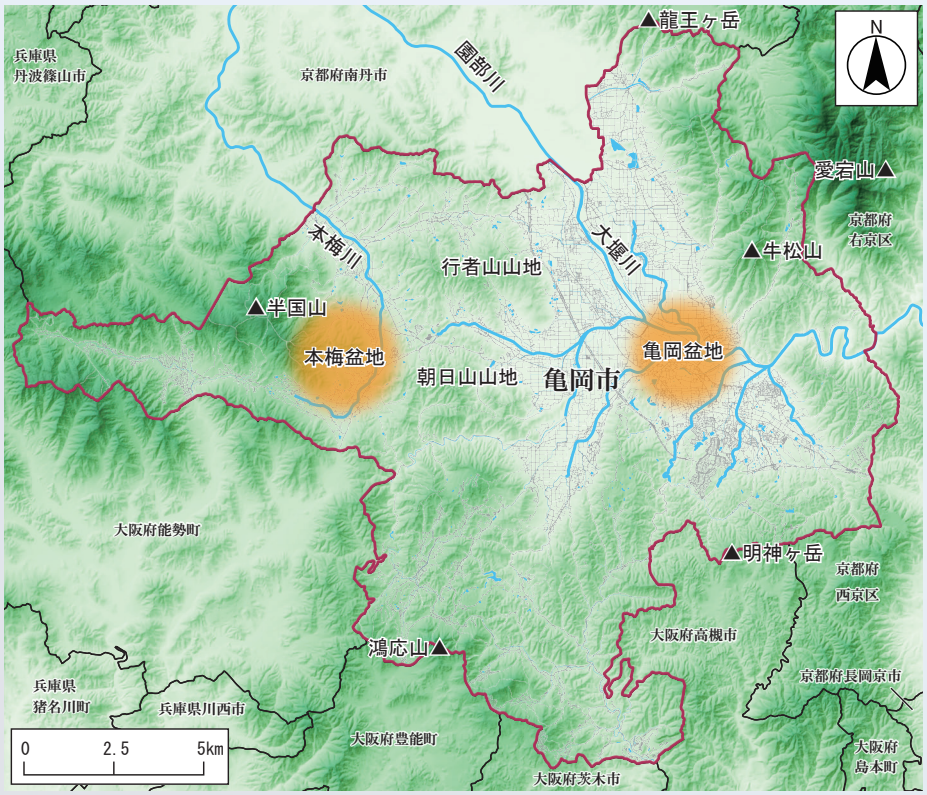
亀岡市教育委員会

亀岡市では、市内の各地域や関係団体と連携し、文化財が地域主体により、継続的・長期的に保存・活用されている状態を目指して「亀岡市文化財保存活用地域計画」を策定しました。

亀岡市の概要

【面　積】約２２４．８㎢
【人　口】約８．８万人

丹波山地の東端に位置する亀岡では、周囲の山々とともに歴史文化が育まれた一方、市内を貫流する大堰川や山陰道を通じて都や西国諸地域との交流があり、丹波の中心地として発展してきました。



亀岡市の位置と地形

亀岡市の文化財の概要

亀岡市内の指定等文化財件数　　【令和４年６月１日現在】単位：件

種別			国指定等	国登録	府指定	府決定	府登録	府暫定	市指定	合計
有形文化財	建造物		7	15	7	－	6	27	9	71
	美術工芸品	絵画	4	0	3	－	0	8	5	20
		彫刻	7	0	5	－	0	27	18	57
		工芸品	0	0	2	－	2	0	4	8
		書跡・典籍	2	0	0	－	0	0	1	3
		古文書	0	0	2	－	0	9	1	12
		歴史資料	0	0	3	－	0	0	0	3
		考古資料	0	0	0	－	0	6	1	7
無形文化財			0	0	0	－	0	－	0	0
民俗文化財	有形民俗		0	1	0	－	1	8	3	13
	無形民俗		1	0	1	－	3	－	3	8
記念物	遺跡（史跡）		2	0	0	－	0	12	4	18
	名勝地（名勝）		0	0	3	－	1	2	0	6
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）		1 (3)	0	0	－	0	0	5	6
文化的景観			0	－	0	－	－	－	0	0
伝統的建造物群			0	－	－	－	－	－	0	0
選定保存技術			0	－	0	－	－	－	－	0
京都府環境保全地区			－	－	－	7	－	－	－	7
合計			24	16	26	7	13	99	54	239

※「0」は制度的裏付けがあるもの、「－」は制度的裏付けがないもの　　※（）内は地域を定めない種の指定

基本理念　この理念をもとに、市内文化財の保存・活用にあたります。

地域が主体となって、亀岡の文化財を理解し、
保存・継承し、活用することを通じて、**ふるさとへの愛**を育み、
地域の活性化へつなげる

将来像　基本理念の具体的な姿を示します。

① 各地域の文化財の場所や基本情報が、地域の中で共有されている。

② 地域住民、特に子どもたちが地域の行事に参加し、伝統行事が継承されている。

③ 教育現場で地域の歴史が取り上げられており、子どもたちも地域に愛着を持っている。

④ 地域住民が主体となり、亀岡市と連携しながら地域の文化財の保存が進められている。

⑤ 地域住民が主体的に文化財の普及啓発を進めており、亀岡市とも連携しながら活用事業を推進している。

大方針　将来像の実現のため、５つの大方針に沿って事業を進めます。

しる

- 文化財把握調査を通じた地域別の偏りの是正
- 文化財把握調査を通じた文化財種別の偏りの是正
- 地域の文化財の調査成果や整備事業などに関する地域との情報共有

ふかめる

- 文化財詳細調査を通じた地域別の偏りの是正
- 文化財詳細調査を通じた文化財種別の偏りの是正
- 亀岡市文化資料館における調査・研究の推進

まもる

- 市内所在文化財の指定・登録と修理等事業の推進
- 既存文化財の保存の継続実施
- 亀岡市ふるさと歴史文化遺産を守る寄付金の普及啓発による修理費の確保
- 文化財の防災・防火対策の推進

つたえる

- 市内の小中学校、高校等と連携した地域のふるさと学習の実施
- 無形民俗文化財等の後継者の育成
- 文化財調査成果の文化資料館等における普及啓発
- 文化財や文化財情報の管理と公開

いかす

- 地域と連携した城跡、城下町、寺社などの活用事業の構築・実施
- 地域住民による文化財の調査や活用に対する主体的な参画の促進
- 無形民俗文化財（行事食、伝統文化）の日常生活への活用

関連文化財群　亀岡の歴史的・文化的特徴を「亀岡の歴史文化」とし

歴史文化１

丹波国の中心地としての歴史文化

ア　丹波国の政治の中心地として

奈良時代、丹波国衙が亀岡盆地に置かれ、これによりこの地は丹波国における政治や文化の一大中心地となりました。

国衙の近くには丹波国分寺も整備されます。寺院は現在も引き継がれ、江戸時代の山門（写真）・本堂・鐘楼が市指定文化財となっています。

イ　丹波国で生まれた信仰・祈り

丹波国分寺等の整備を通じて、中央の仏教文化の影響が亀岡にも及び、丹波国における仏教信仰の拠点のひとつとなりました。

市内の寺院には、国分寺（千歳町）の薬師如来坐像（写真）や、極楽寺（千歳町）の十一面観音立像、神蔵寺（薭田野町）の薬師如来坐像など、古代に遡る本格的な作域の像が伝えられています。

ウ　丹波国独自の教育

江戸時代、亀山藩主として入封した形原松平氏は、学制の整備につとめ、藩士教育の場として「遷訓堂」をおきました。

一方、亀岡は歴史的に重要な学問・教育者が生まれた地でもあり、東掛村（東別院町）で生まれた石田梅岩がはじめた石門心学は、京都をはじめとする広い地域に普及していきました。

（写真：石田梅岩関係史料）

歴史文化２

京都とのかかわりから生まれた歴史文化

エ　京と丹波国を結ぶ水運

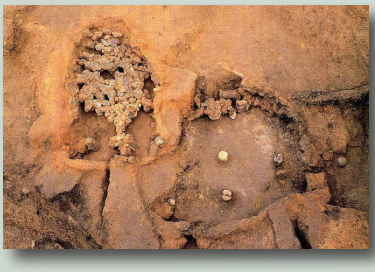
大堰川の水運は、古来より山奥の木材を筏に組んで都へ運ぶ手段であり、江戸時代に角倉了以・素庵が大堰川を開削して以降は、船による米や薪等の物資輸送も行われました。

（写真：大堰川を下る観光船「保津川下り」）

オ　京と丹波国・西国諸国を結ぶみち

川東地域には古代山陰道が通り、戦国期には明智光秀が丹後道・山陰道（写真）・篠山街道・摂丹街道の交わる亀山に城を築きました。

カ　亀岡から京へ　京を支える物資等の供給地として



古来より亀岡は木材や薪炭等を都へ供給し、篠窯跡（写真）では京都などで消費される土器や瓦が大量に生産されました。現代でも京野菜などを京都へ供給しています。

キ　京から亀岡へ　「京の奥座敷」として

古来より亀岡は京都の「奥座敷」として、多くの人を受け入れてきました。

金輪寺（写真）も、多くの僧の帰依を受けています。

って４点に整理し、これに基づいてア～シの「関連文化財群*」を設定しました。

歴史文化３

畿内文化の交流点としての歴史文化

ク　摂丹型民家とその影響下で成立した町家群

摂津国～丹波国、山城国西部にわたる広いエリアでは、いわゆる摂丹型民家（写真）が広く分布しており、亀岡にもこの特徴を持つ民家が多く所在しています。

ケ　北摂に隣接する地域の暮らしと歴史

本梅盆地や別院・畑野地域は、亀岡盆地とは山々で隔てられ、距離的な近さから、亀岡の南西部にある摂津国と深い関係にありました。
（写真：摂津国に抜ける摂丹街道）

コ　亀岡から羽ばたいていった先人たち

江戸時代を代表する画家、円山応挙（まるやまおうきょ）は、亀岡の穴太村（曽我部町）の出身です。子供のころに奉公に出た縁から、金剛寺に「群仙図」（写真）等を寄進したとされています。

石田梅岩や中川小十郎も亀岡で生まれ、京都等で活躍しました。

サ　巡礼道や信仰を介した他地域との文化交流圏

曽我部町には、西国三十三所第二十一番札所の穴太寺があります。市内には愛宕神社や妙見山の信仰圏もあり、現在も多くの参詣者が訪れます。（写真：穴太寺観音縁起絵巻）

歴史文化４

地形や自然が育んだ歴史文化

シ　農村の暮らしが育んだ文化・景観

亀岡には、各地域それぞれの地形や風土に影響されて育まれた歴史文化が多く存在します。

寒天は、寒冷な気候を背景に、畑野町・本梅町、東西別院町で戦後まで産業として発展しました（写真）。

神社の氏子域である大井町各地区から奉納される大井神社の立花や、保津町の保津八幡宮で挙行される火祭り（写真）は、風土に根ざした民俗行事です。

これらの産業や伝統行事を育ててきた自然や、集落景観（写真：別院地域山間部）もよく残っており、ともに後世に伝えていく必要があります。

＊関連文化財群とは

地域の多種多様な文化財を、歴史文化の特徴に沿って一定のまとまりとして捉えたものです。相互に結びついた文化財の多面的な価値・魅力を発見することができます。

措置　基本理念・大方針に基づき、①～㊱の措置を設定しました。

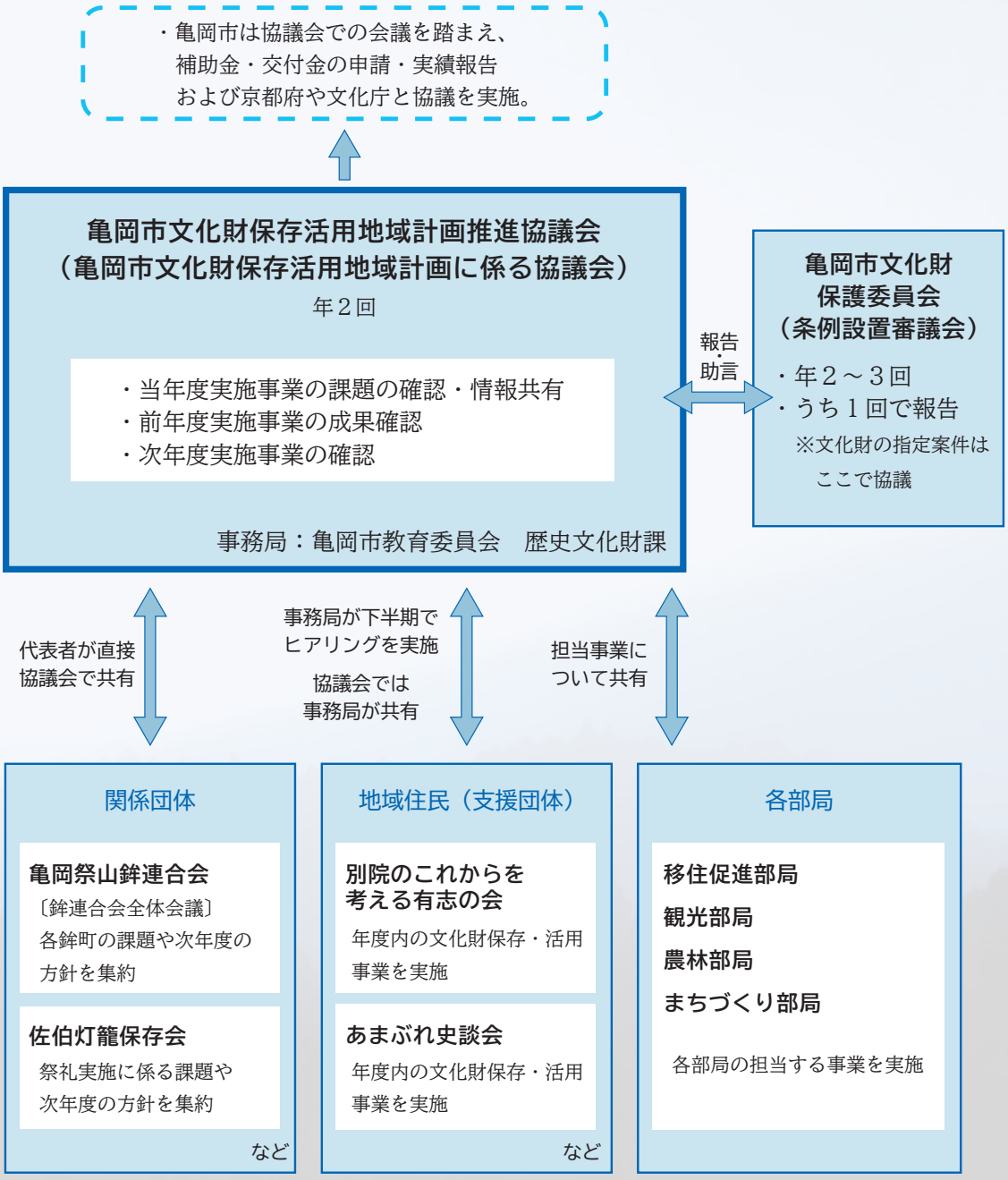
大方針	対応する歴史文化	措置の内容（太字は重点措置に関わる内容）
しる	全て	① 地域における文化財に関する**勉強会・展示会**の実施
	全て	② 民俗文化財、記念物を主とした文化財の把握調査の実施
	3	③ 円山応挙等亀岡出身の偉人に関わる文化財調査の実施、目録の作成（上田正昭蔵書等
ふかめる	1	④ 亀山城跡・神尾山城跡・数掛山城跡など各地域に点在する城跡、関連文化財の調査
	1	**⑤ 美術工芸品**や**建造物**、**祭行事**等の調査・保存の継続実施
	2	⑥ 京都府文化財保護課と連携した歴史の道調査の実施
	3	**⑦ 戦争資料**の調査と文化資料館での成果展示の継続実施
まもる	全て	⑧ ふるさと納税やクラウドファンディングを生かした文化財修理費用の募集
	全て	⑨ 国・京都府と連携した市内文化財の指定登録及び修理・防犯事業の推進
	1	⑩ 旧丹波亀山城下に残る惣構跡や町屋等の調査と景観ルール策定による保存・活用の
	2	⑪ 天然砥石採掘や諸職の技術の保全、民俗行祭事の保全
	3	⑫ 歴史的建造物の国登録文化財への登録の推進、重要文化財（建造物）の保存
	3	**⑬ アユモドキ**や**オオサンショウウオ**の保全活動の継続実施、資料館での展示活動
	全て	⑭ 文化財防災マップを作成するとともに南丹エリア文化財防災会議の開催
	全て	⑮ 文化庁の規定する防火対策整備の推進、文化財保護指導員や地域と連携した防犯対策
つたえる	全て	⑯ 教育関係資料の調査・整理と学校教育への活用
	全て	⑰ 美術工芸等の**高精細撮影**と**検索データベース**の構築
	全て	**⑱ 文化財保存継承の拠点**としての文化施設や埋蔵文化財収蔵庫の整備
	1	⑲ 文化資料館における各地域の文化財を扱った**企画展**の継続実施
	1	⑳ 後継者育成を目指した市内各団体の連携会議の実施、担い手育成プロジェクトの実施（佐伯灯籠保存会・亀岡祭山鉾連合会等）
	2	㉑ 保津川遊船企業組合等との連携による学校や企業を対象とした教育体験旅行の催行
	2	㉒ おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾（行事食研究会）の開催
	2	㉓ 篠窯跡の案内看板の設置等
	3	㉔ 霧の芸術祭や各種イベントでの京野菜の販売を通じた PR 活動の実施
	4	㉕ 寒天道具等**地域の民具や小道具**の保存・公開の推進
いかす	全て	㉖ 地域と連携した文化財調査員・ガイドの育成
	1	**㉗ 史跡丹波国分寺跡**の整備及び活用の推進
	1	㉘ 丹波国分尼寺跡等を生かした**河原林地域の文化財**の活用の推進
	1	㉙ 城跡などの文化財の調査とこれを活かした**地域活性化**の取り組みの推進
	1	㉚ 移住者受入体制の充実のため古民家の活用によるお試し居住の強化
	2	㉛ 観光部局と連携し、歴史の道や巡礼道散策ルートの開発・普及啓発、ツアーの設定
	2	㉜ 川の駅の活用による舟運歴史の啓発・体験
	2	㉝ 筏流し再現活動の支援、普及啓発
	3	㉞ 保津川下り・トロッコ列車と旧城下町や法常寺等を関連付けたツアーの構築・催行
	3	㉟ 中川小十郎や石田梅岩、田中源太郎等の旧家を生かした観光ツアーやイベントの実施
	4	㊱ アグリフェスタ等のイベントの開催

	実施主体（◎：中心になって取り組む　○：協力して取り組む）			経費	年次計画（アミかけが実施期間）				
	地域住民	亀岡市（関係部局を並記する）	関係団体		-R5	-R8	-R10	-R12	-R14
	◎	○ 文化財部局		市・国					
	○	◎ 文化財部局		市・国					
）	○	◎ 文化財部局	○	市・国					
の実施		◎ 文化財部局	○	市・府・国					
	◎	◎ 文化財部局		市・府					
		◎ 文化財部局		府・国					
		◎ 文化財部局		市					
	◎	○ 文化財部局		民間					
	◎	◎ 文化財部局	○	市・府・国					
推進		◎まちづくり部局　○文化財部局	◎	市・国					
		○ 文化財部局	◎	市・国					
	○	◎ 文化財部局		市・国					
の継続		◎ 文化財部局	◎	市・府					
	○	◎ 文化財部局	◎	市					
の推進	○	◎ 文化財部局	◎	市・国					
		◎ 文化財部局		市・府・国					
		◎ 文化財部局	○	市・国					
		◎ 文化財部局		市・国					
		◎ 文化財部局		市・国					
	◎	○ 文化財部局	◎	市・国					
		○ 観光部局	◎	民間					
	○	◎ 農林部局		市					
		◎ 文化財部局		市・国					
	◎	○ 農林部局		市					
	◎	○ 文化財部局		市・国					
	◎	○ 文化財部局	○	市・国					
	○	◎ 文化財部局	◎	市・国					
	◎	◎ 文化財部局		市・府					
	◎	◎ 文化財部局		市・民間					
		◎ 移住促進部局		市					
		◎ 観光部局	◎	市・国					
		◎ 観光部局	◎	市					
		○ 文化財部局	◎	市・民間					
		○文化財部局　○観光部局	◎	市・国・民間					
	◎	○文化財部局　○観光部局　○農林部局		市・国					
	○	◎ 農林部局		市					

推進体制

措置の進捗は、亀岡市教育委員会・歴史文化財課が事務局となり、亀岡市文化財保存活用地域計画推進協議会によって検証・確認します。協議会は年２回開催し、年度始めの会議で前年度事業成果の確認と課題の共有、年度末の会議で次年度実施事業の確認を行います。

会議に際しては、連携する地域住民や関係団体との情報共有を行います。



『亀岡市文化財保存活用地域計画－概要版－』

発　行　日　令和５年２月

発行・編集　亀岡市教育委員会歴史文化財課

〒６２１－０８１５　京都府亀岡市古世町中内坪１番地

Tel　０７７１－２５－５０６８

Fax　０７７１－２５－６１２８